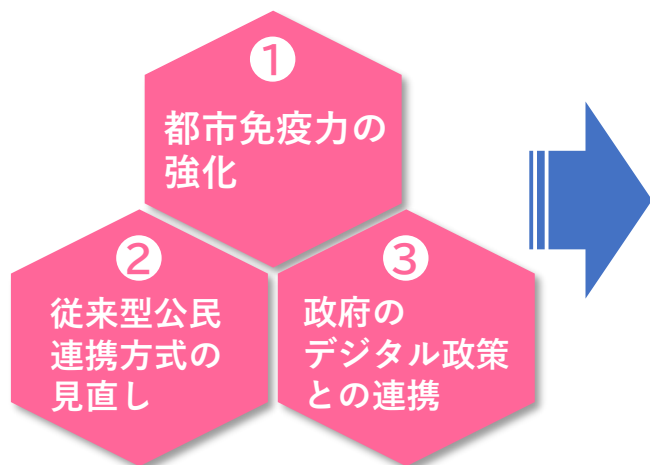


スマートシティ戦略Ver.2.0に取り込むべき 3つの要素

▶ 本年3月にスマートシティ戦略Ver.1.0を発表済み。今年度内にVer.2.0を発表予定。本日はその中間報告

スマートシティ戦略Ver.2.0に取り込むべき、
Ver.1.0発表以降に生じた **3つの要素**



新たな重点施策

- 1** スマートシティ・サービスの広域化と一元化
 - ・個々の市町村にとどまらないスマートシティ・サービス。
 - ・複数の自治体が協業できる制度改革
- 2** 地方分権に適したデジタル・アーキテクチャー「基盤は統一、機能は分散」
 - ・政府のデジタル改革体制・デジタル庁と符合した組織改革へ。
 - ・政府のデジタル戦略と呼応し、都市OSの共通基盤化や市町村システム標準化を推進。
- 3** 個人情報や行政データの効果的な活用
 - ・コロナをきっかけとし、個人データ取り扱いに関する国民的議論を。
 - ・万博やIRに向け、国民・府民のコンセンサス醸成。
- 4** 社会的弱者を対象としたサービス拡充
 - ・高齢者、学童・幼児、中小・零細企業、非正規労働者などを支援。
- 5** 公民共同エコシステムによるサービス構築
 - ・パートナーズフォーラムをn:nの協議の場に。
 - ・自治体の社会的課題解決＝民間のビジネス市場。

重点施策

バージョンアップに向けたスマートシティ戦略の追加要素

	① 都市免疫力の強化	② 従来型公民連携方式の見直し	③ 政府デジタル戦略の取り込み
1 スマートシティ・サービスの広域化と一元化	○	◎	◎
2 地方分権に適したデジタル・アーキテクチャー「基盤は統一、機能は分散」	○	○	◎
3 個人情報や行政データの効果的な活用	◎		◎
4 社会的弱者を対象としたサービス拡充	◎	○	
5 公民共同エコシステムによるサービス構築	◎	◎	